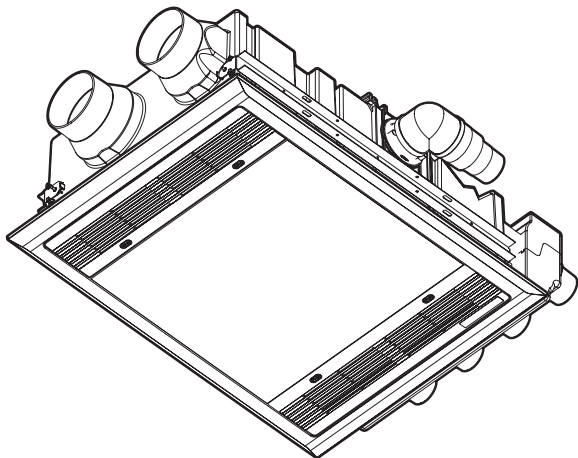


施工説明書

24時間換気システム交換ユニット

品番 ERS-8300



1. 安全のために必ずお守りください	表紙
2. 各部の名称と寸法 [単位:mm]	1、2
3. 気をつけていただきたいこと	2
4. 各部材設置例	3
5. 換気ユニット取り付けの注意点	3
6. 既設機の取り外し	4～5
7. 換気ユニット取り付け準備	6
8-1. 換気ユニット取り付け工事	6～8
8-2. 電気配線工事	9～11
9. フロントパネルの取り付け	12
10. 風量の設定	12
11. 点検と試運転	13

1 安全のために必ずお守りください

- 取り付けの前に、この事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
- この項に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 表示の意味は次のとおりになっています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 図記号の意味は次のとおりになっています。



「禁止」
を表します



「分解禁止」
を表します



「必ず行うこと」
を表します



「アースを〇種接地工事に
基づいて必ず接続すること」
を表します

- 取り付け施工完了後、この項の注意事項が守られているか確認のうえ、試運転を行い異常がないか確認し、取扱説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様がいつでも見られる所に必ず保管するようお願いしてください。

警告



交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障のおそれがあります。



改造は行わない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売事業者または弊社へご相談ください。



取付注意

電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規程にしたがって必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行う
無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こすおそれがあるほか、関係法令により処罰等されることがあります。



禁止

電源線などに各配線に、以下のことをしない
・傷つける ・無理に曲げる
・無理な力を加える ・束ねる
・重いものを載せる ・はさみ込む
火災・漏電・故障のおそれがあります。

注意



取付注意

本交換ユニット(本体、取り付け枠、フロントパネル)の重量は約11kgあります。本体取り付け工事は十分強度が得られるよう補強材などを取り付け、確実に行う。落下により、けがをするおそれがあります。



禁止

本体を洗浄したり、雨ざらしにしない
火災・感電・故障のおそれがあります。



必ず守る

取り付け作業時には必ず手袋をはめる
けがをするおそれがあります。



取付注意

電源電線の接続は確実に行う
接続部が過熱して発火のおそれがあります。



取付注意

部品の取り付けは確実に行う
落下により、けがをするおそれがあります。



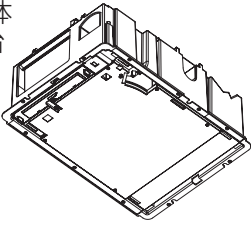
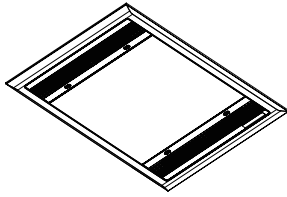
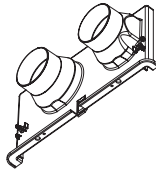
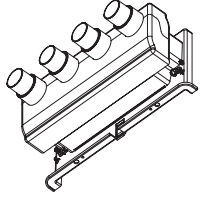

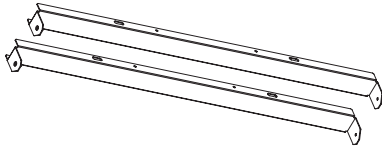

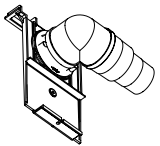
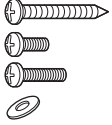
必ず守る

工事後に施工説明書などのゴミを天井裏に残さない
故障のおそれがあります。

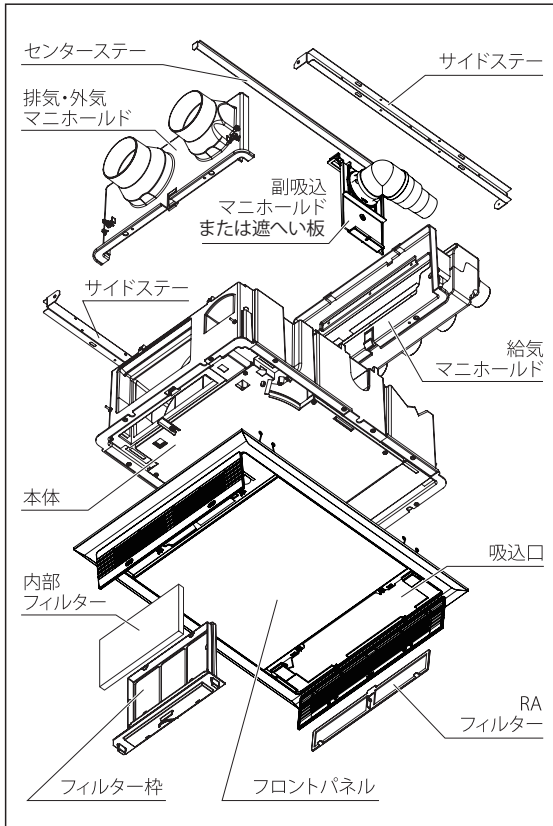
2

各部の名称と寸法 [単位: mm]

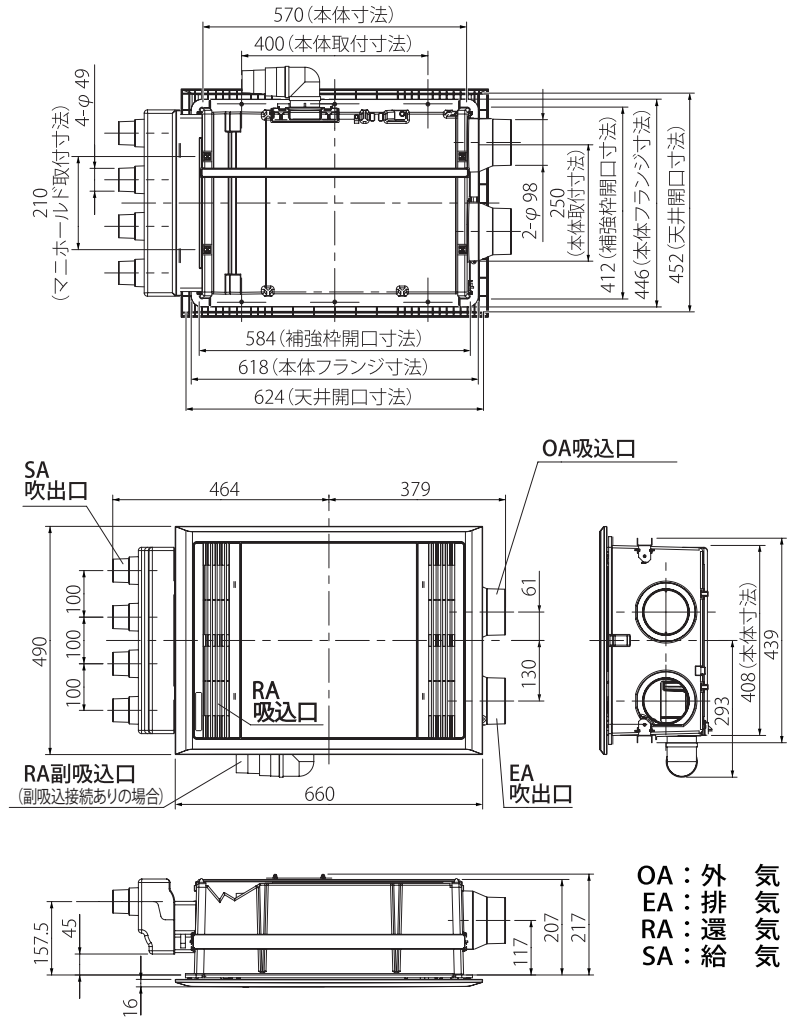
梱包内容 (換気ユニット1台あたり)

本体 1台 	フロントパネル 1個 	排気・外気マニホールド 1個 	給気マニホールド 1個 
センターステー 1個 	サイドステー 2個 	遮へい板 1個 	副吸込マニホールド 1個 
取扱説明書 1冊 ※必ずお客さまに お渡しください。	施工説明書 1冊 この施工説明書を表します。 ※必ずお客さまに お渡しください。	付属 ねじセット 1袋 +ハイローねじ4×35黒(本体、各マニホールド取り付け用)…15本 +パインドねじ4×10(サイドステー取り付け用) ……4本 +パインドタップタイトねじ4×12(遮へい板取り付け用)……1本 平ワッシャー(副吸込マニホールド取り付け用) ……1個	

換気ユニット組立図



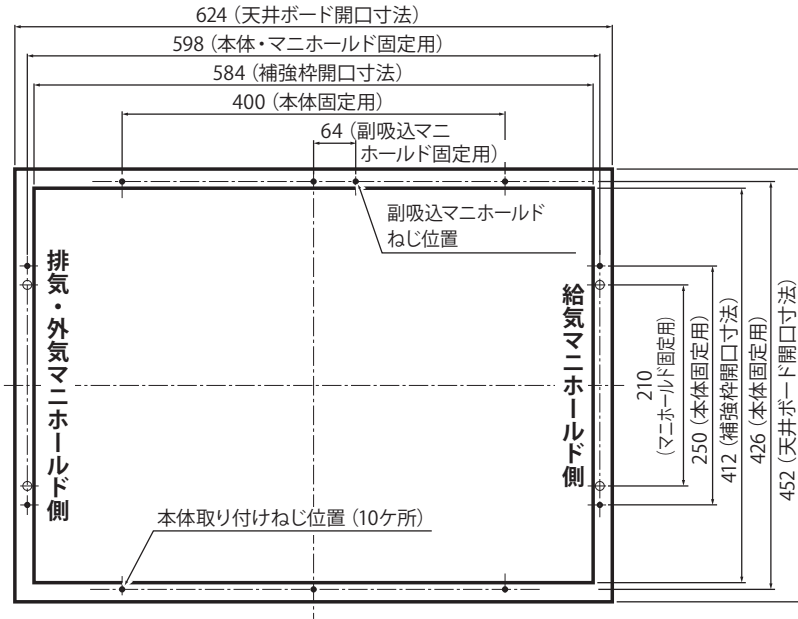
換気ユニット外形寸法図



2

各部の名称と寸法 [単位: mm] (続き)

取り付け穴位置図



3

気をつけていただきたいこと

- この換気システム交換ユニットは、天井取り付け専用です。
壁横設置や斜めに設置した場合、故障のおそれがあります。

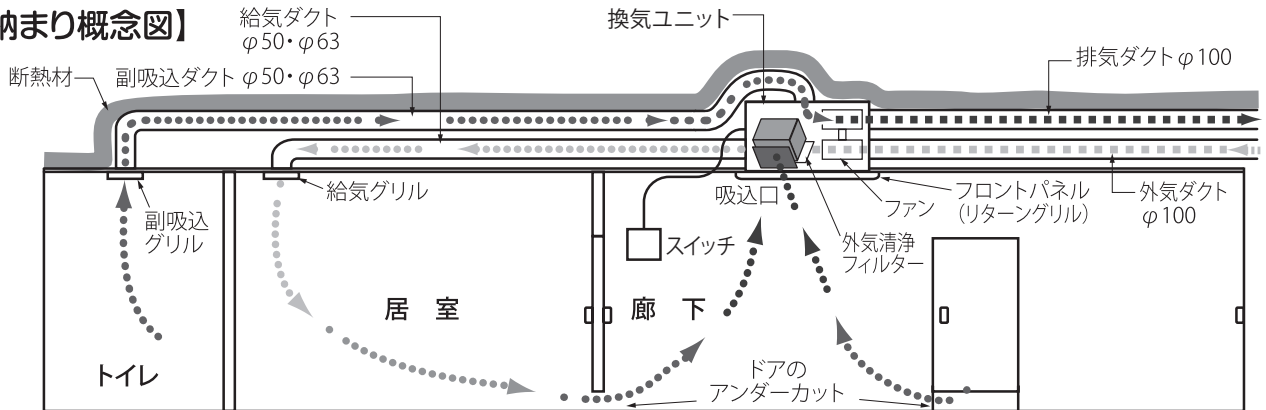
⚠注意



取付注意

換気ユニット、ダクトは必ず断熱空間内に設置する
断熱空間外に設置した場合、結露するおそれがあります。
断熱空間外に設置する場合は、すまなく断熱材料でおおってください。

【納まり概念図】



- 高温になる場所 (40℃以上の環境) では使用しないでください。
故障の原因になります。
- 次のような特殊な環境でのご使用は避けてください。
温泉など腐食しやすいガスが出る場所、異常に高温・多湿になる場所などでの設置はしないでください。
故障の原因になります。

⚠注意



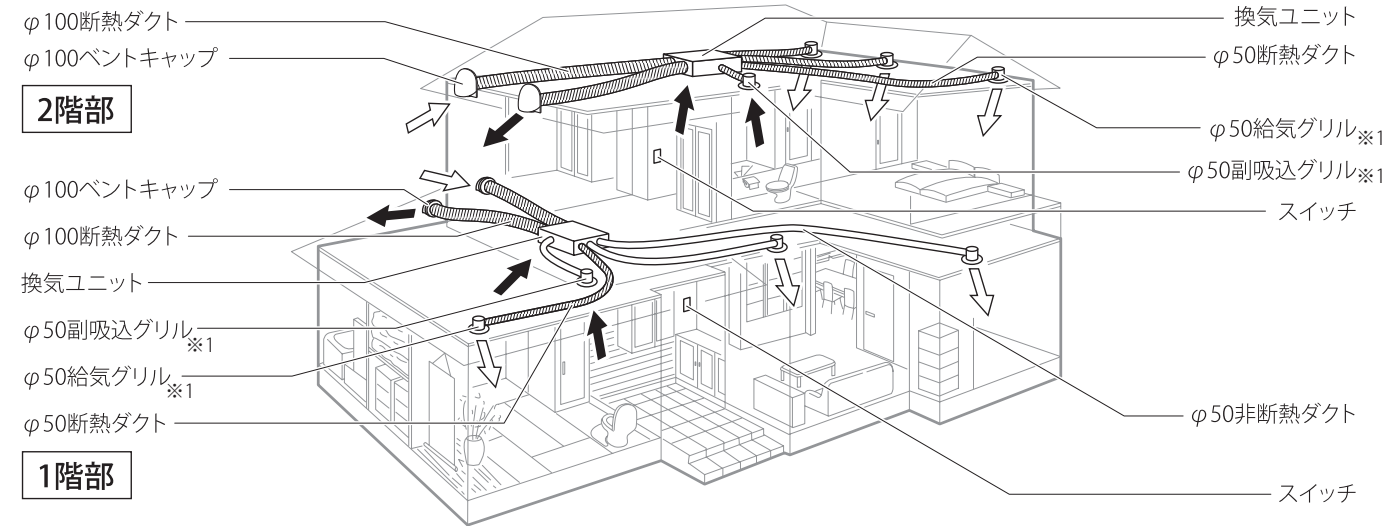
取付注意

既設の換気ユニット、排気・外気マニホールド、給気マニホールド、副吸込マニホールド、フロントパネル、ねじ類は全て取り外し、本製品同梱品に交換してください。
既設の部品をそのまま使用すると故障するおそれがあります。

4

各部材設置例 (取り付け工事の前に必ずお読みください)

【各部材の設置例】



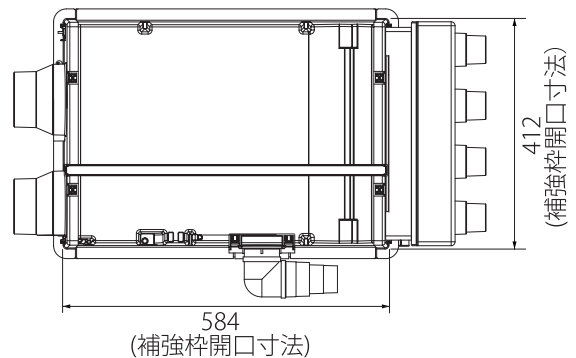
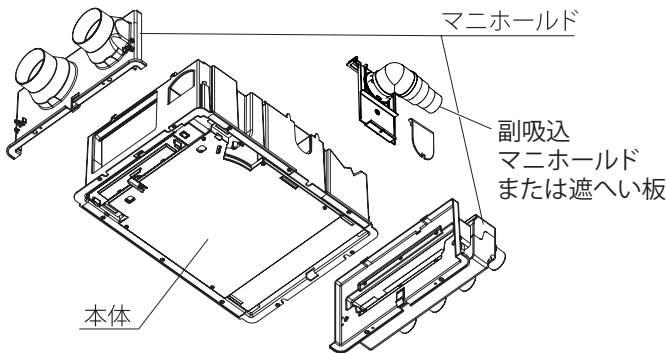
※1 給気グリル、副吸込グリル ……既に取り付けられています。必要に応じて交換を行ってください。

5

換気ユニット取り付けの注意点 (換気ユニット取り付け開口部の仕様と注意点)

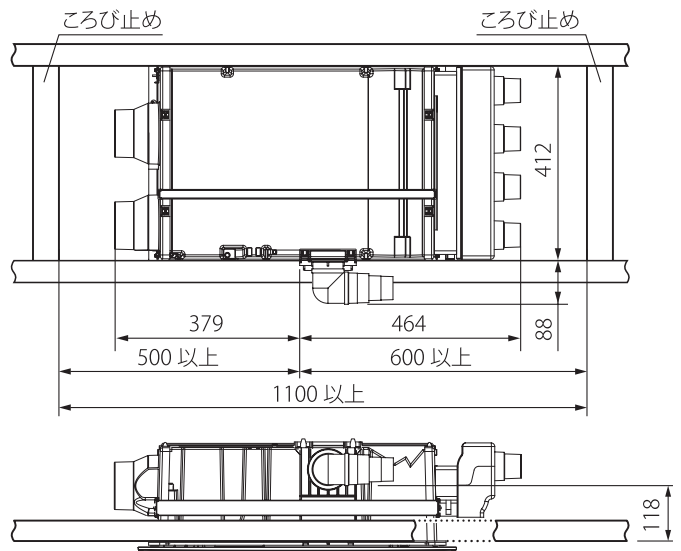
換気ユニットは、下記のように本体とマニホールドの4部品から構成されています。

換気ユニットの取り付け開口寸法は、412×584mmとなっておりますが、天井裏のスペースが別途必要となります。下記の注意事項を参照の上、スペースを確保してください。



確認事項

本体取り付け開口部は右記寸法を確保してください。各ダクトのテープ巻きスペースの確保及び曲がり(水平、上下方向)を防止するため。



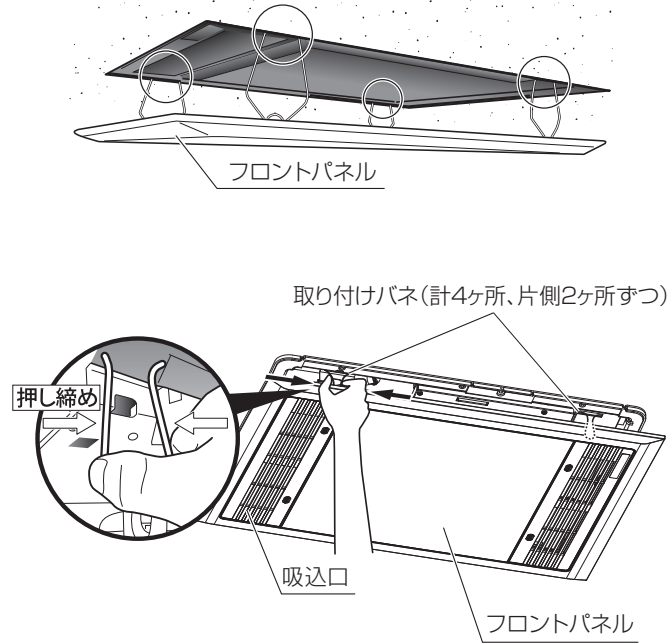
6

既設機の取り外し

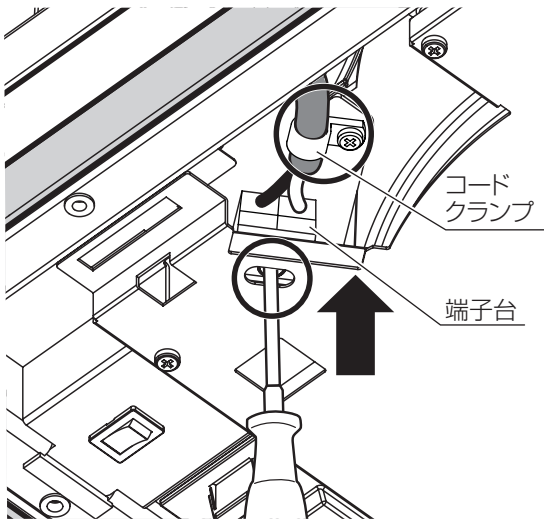
※イラスト中は天井ボードを省略しています。

【本体の取り外し】

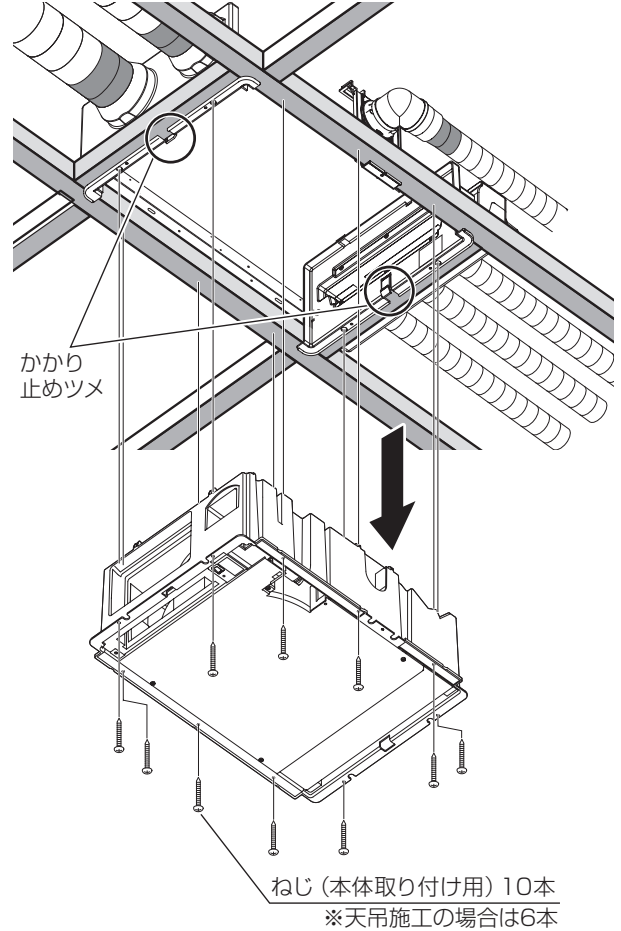
- ① 分電盤の換気ユニットの小ブレーカーを遮断して、本体へのAC100V電源を切ってください。
- ② フロントパネルを少し下げて取り付けバネ(4ヶ所)を外してください。



- ③ コードクランプを外して、端子台から電源ケーブルを外してください。ドライバーの先端で端子台のボタンを強く押せば外すことができます。外した電源ケーブルは絶縁し、手の届く範囲に仮置きしてください。



- ④ 本体取り付け用ねじ(10ヶ所)を外して、取り付け枠のかり止めツメ(2ヶ所)を押しながら本体をゆっくり下ろしてください。



⚠注意



取付注意

■分電盤のブレーカーを遮断した状態で行うこと。
感電・けがのおそれがあります。

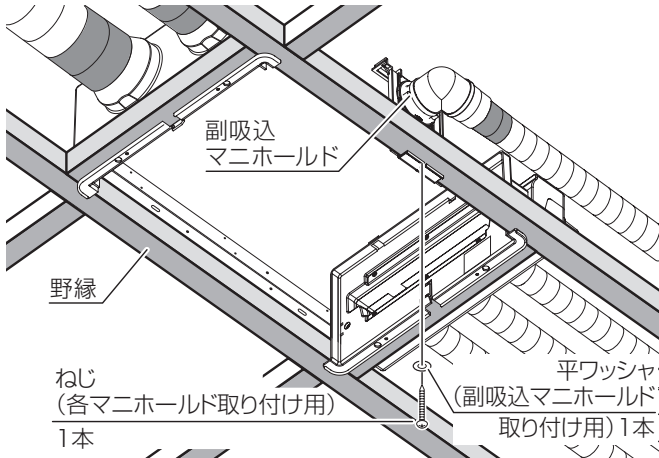
6

既設機の取り外し (続き)

【給気マニホールド、排気・外気マニホールドの取り外し】

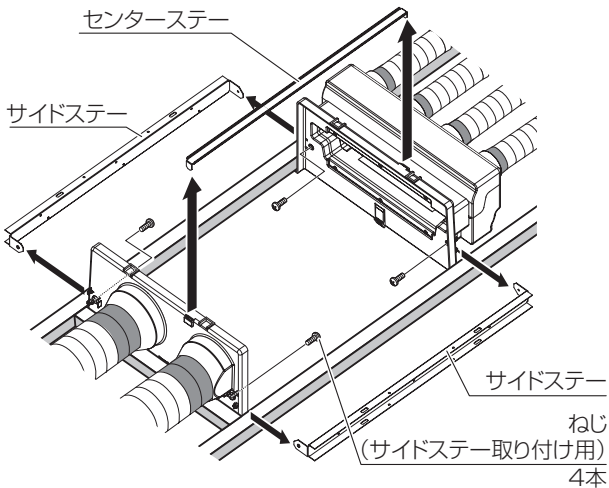
野縁施工からの取り外しの場合

- ① ねじ (各マニホールド取り付け用) 1か所を外し、副吸込マニホールドを外してください。

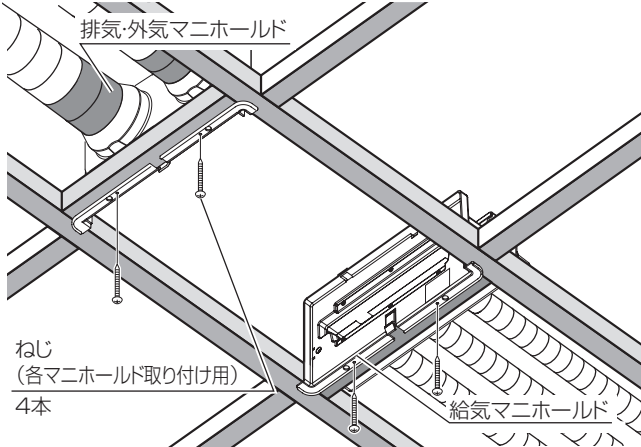


※副吸込マニホールドが組み付けられていない場合があります。

- ② センターステー1本を外してください。
ねじ (サイドステー取り付け用) 4か所を外し、サイドステー2本を外してください。



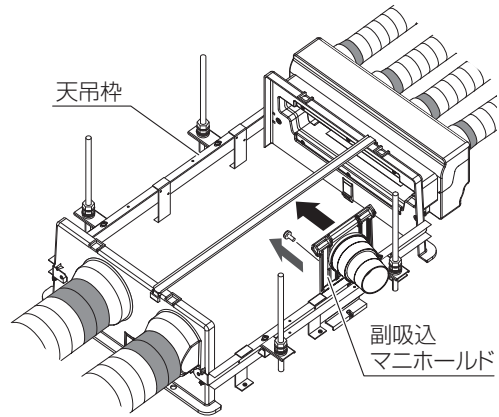
- ③ ねじ (各マニホールド取り付け用) 4か所を外し、給気マニホールド、排気・外気マニホールドを外してください。



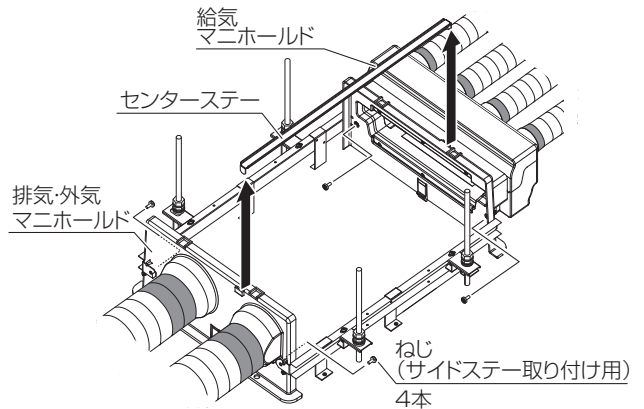
- ④ マニホールドに接続しているダクトを全て外してください。
※外したダクトは、手の届く範囲に仮置きしてください。

天吊枠からの取り外しの場合

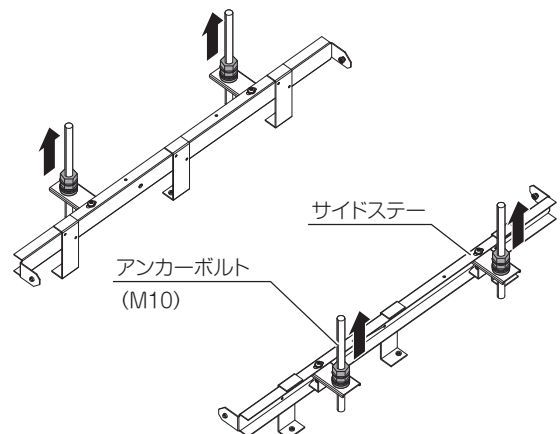
- ① ねじ1か所を外し、副吸込マニホールドを外してください。
※副吸込マニホールドが組み付けられていない場合があります。



- ② センターステー1本を外してください。
サイドステー取り付け用ねじ (M4×10) 4か所を外し、給気マニホールド、排気・外気マニホールドを外してください。



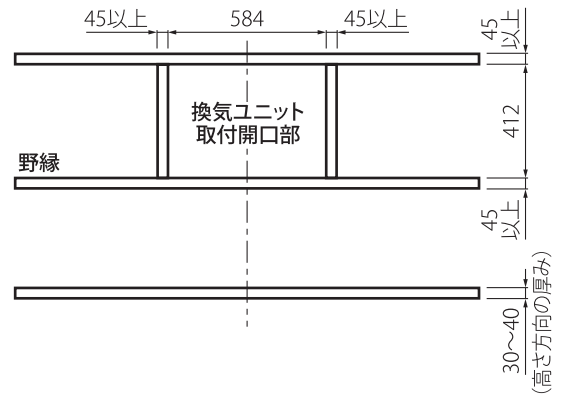
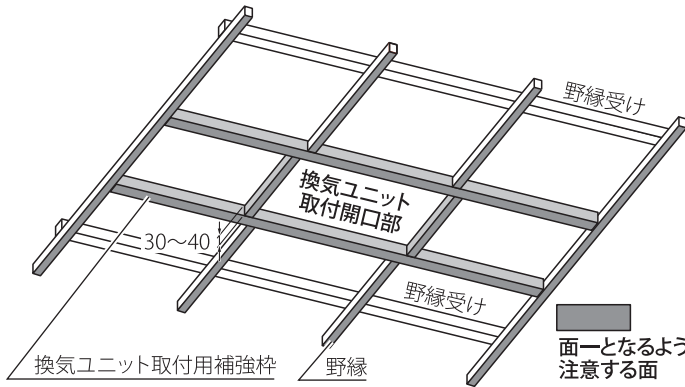
- ③ アンカーボルトからサイドステーを外してください。



- ④ マニホールドに接続しているダクトを全て外してください。
※外したダクトは、手の届く範囲に仮置きしてください。

7 換気ユニット取り付け準備

- ① 既設機を取り外した後、木枠が内寸法で412×584mmとなっていることを確認してください。
 ※天吊取り付けに関する作業は天吊枠セット(商品名ESP-C1M)の 施工説明書をご参照ください。



⚠ 注意

!

取付注意

- 使用する角材の高さ方向の厚みは30~40mmであること
- 開口の角の直角度が正確に取り付けられていること
- 補強枠と野縁の下面が面一となるよう取り付けられていること

8-1 換気ユニット取り付け工事

!

取付注意

図は副吸込マニホールドを使用した図です。
 副吸込を使用しない場合は、遮へい板を使用してください。
 ※遮へい板を使用する場合は P8を参照してください。

【マニホールド、センターステーの取り付け】

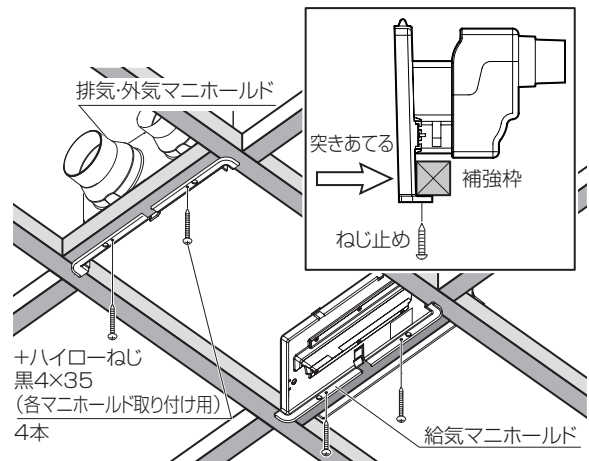
- 6 既設機の取り外し**

を確認し、取り外しが完了していることを確認してください。
- 5 換気ユニット取り付けの注意点** (換気ユニット取付開口部の仕様と注意点)
- 7 換気ユニットの取り外し準備**

を確認し、規定の寸法になっているか確認してください。

野縁取り付けの場合

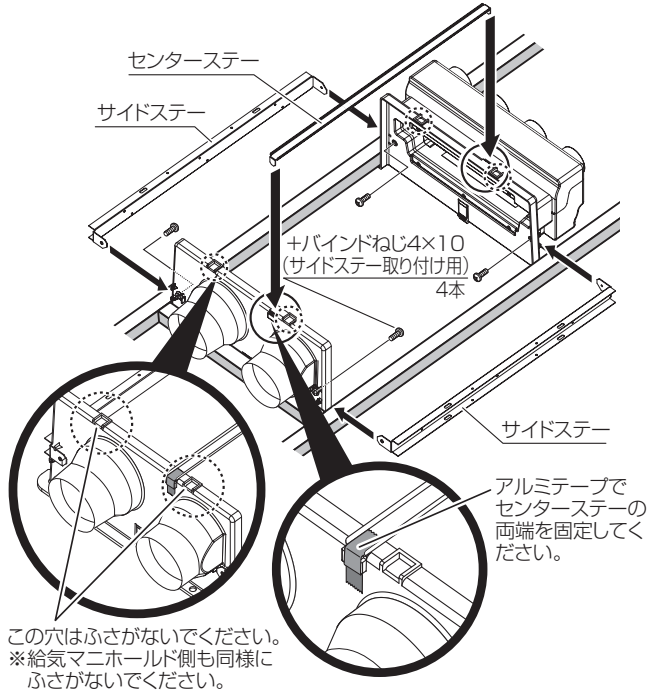
- ① 給気マニホールドと排気・外気マニホールドを補強枠に突きあてながら+ハイローねじ黒4×35 (各マニホールド取り付け用) 4本で、補強枠に固定してください。
 ※天吊取り付けに関する作業は天吊枠セット(商品名ESP-C1M)の 施工説明書をご参照ください。



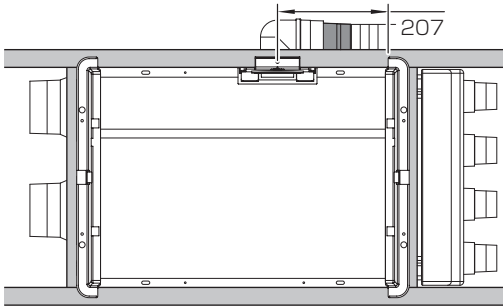
8-1

換気ユニット取り付け工事 (続き)

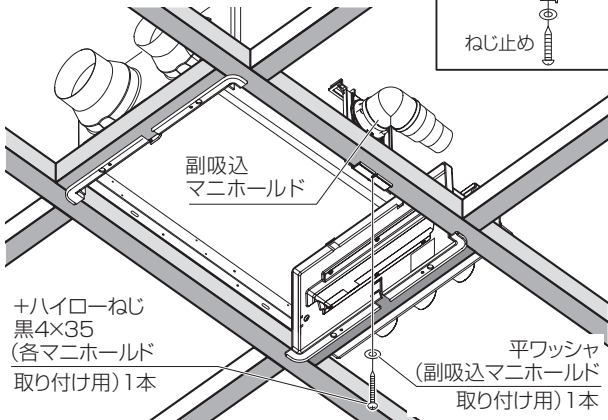
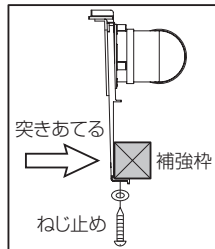
- ② サイドステー2本を給気マニホールドと排気・外気マニホールド間に差し込み、+バインドねじ4×10 (サイドステー取り付け用) 4本でマニホールド間を固定してください。
- ③ センターステーを上から差し込み、アルミテープ (現場調達) で固定してください。それによりマニホールド間を固定してください。



- ④ 副吸込マニホールドを図の寸法の位置に取り付けてください。



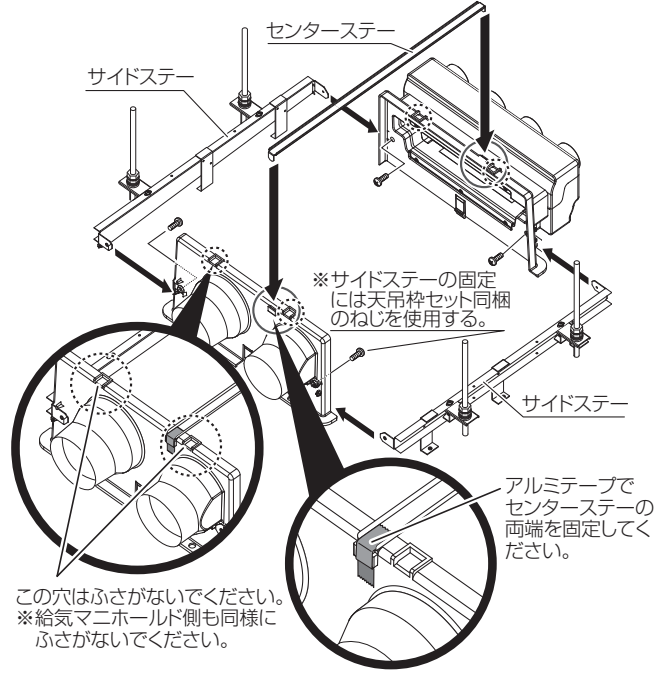
副吸込マニホールドは補強枠に突きあてながら、平ワッシャ (副吸込マニホールド取り付け用) と+ハイローねじ 4×35黒 (各マニホールド取り付け用) 1本で固定してください。



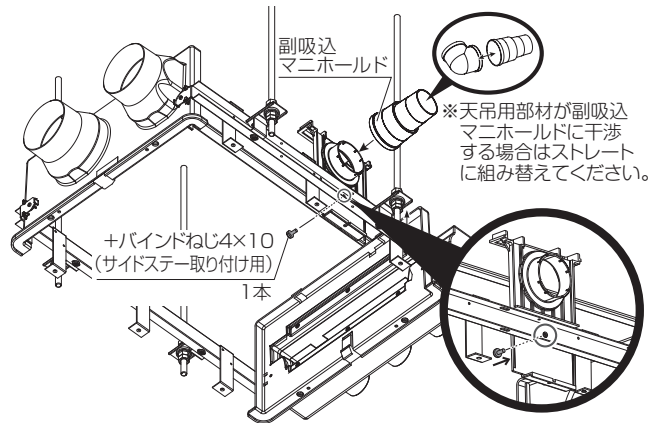
天吊枠セットを用いる場合

※天吊取り付けに関する作業は天吊枠セット (商品名ESP-C1M) の施工説明書をご参照ください。

- ① サイドステー2本を給気マニホールドと排気・外気マニホールド間に差し込み、+バインドねじ4×10 (天吊枠セット同梱品) 4本でマニホールド間を固定してください。
- ② センターステーを上から差し込み、アルミテープ (現場調達) で固定してください。それによりマニホールド間を固定してください。

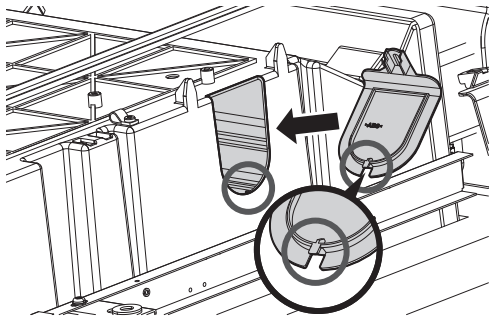


- ③ 副吸込マニホールドを付属の+バインドねじ4×10 (サイドステー取り付け用) 1本でサイドステーに固定してください。残りのねじ3本は使用しません。

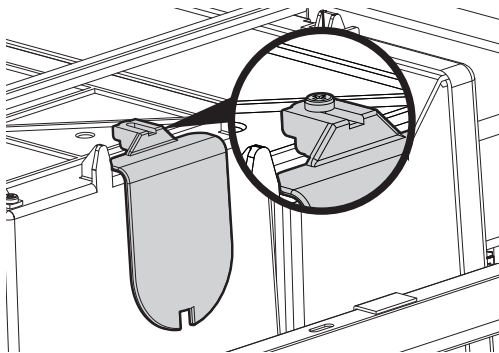


【遮へい板を使用する場合】

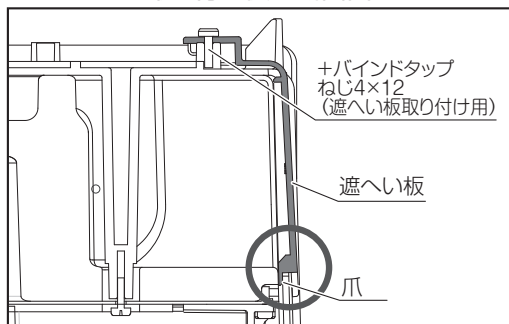
- ① 遮へい板の下方にある爪を、本体開口部に引っ掛け仮置きしてください。



- ② +バインドタップねじ4×12 (遮へい板取り付け用) 1本で遮へい板を固定してください。



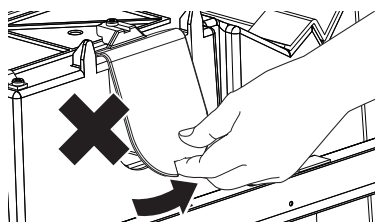
取り付け後の断面図



⚠️ 注意

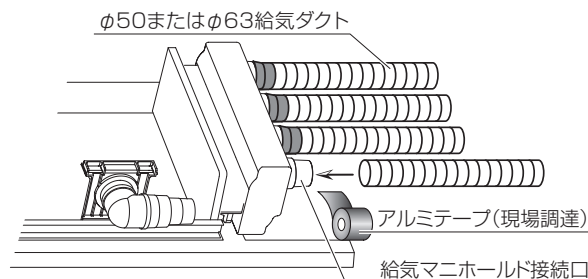
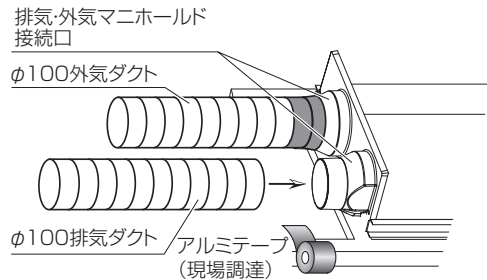
- 遮へい板を正しく取り付ける。
遮へい板が浮く場合は正しく取り付け直してください。

⚠️
取付注意

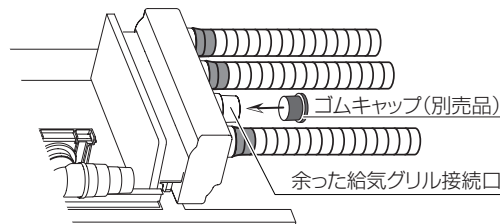


【ダクト接続】

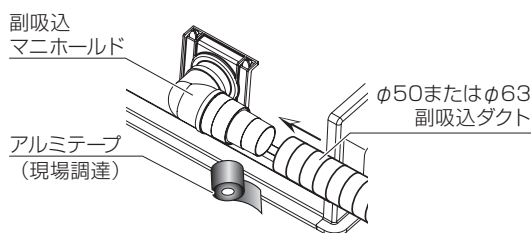
- ① 同梱品の排気・外気マニホールド接続口とφ100外気ダクト、φ100排気ダクトをつなぎ、アルミテープ (現場調達) で固定してください。
- ② 給気マニホールド接続口とφ50またはφ63給気ダクトをつなぎ、アルミテープ (現場調達) で固定してください。



- ③ 給気マニホールドの余った接続口は、アルミテープでふさぐか、ゴムキャップ (別売品) をかぶせ、アルミテープで固定してください。



- ④ 副吸込ダクトがある場合は副吸込マニホールドとφ50またはφ63副吸込ダクトをつなぎ、アルミテープ (現場調達) で固定してください。遮へい板使用の場合はダクト接続はありません。

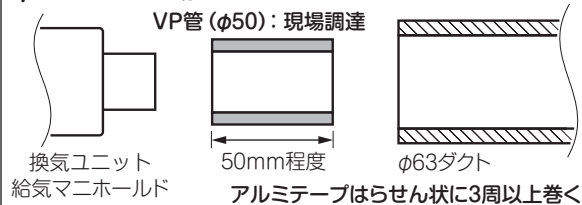


⚠️ 注意

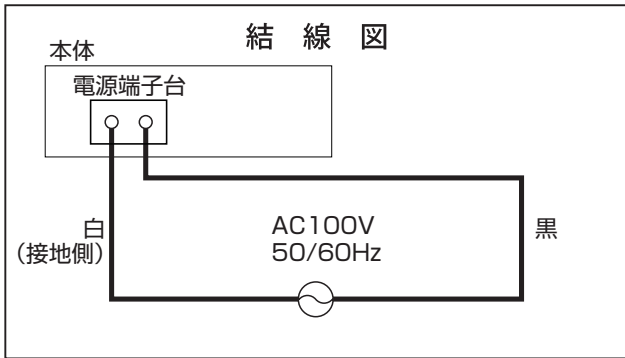
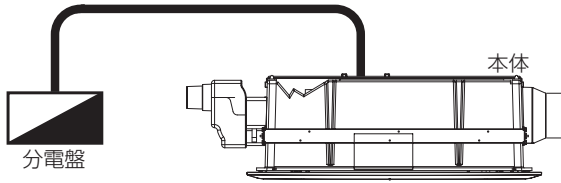
- アルミテープは、らせん状に最低3周以上巻く
- 給気ダクトと副吸込ダクト取り付け位置を間違えないようにする

⚠️
取付注意

φ63ダクトの場合



【電気設備配線イメージ】



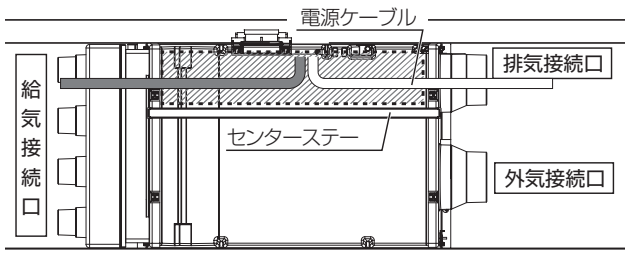
⚠️ 注意



取付注意

- 電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規程にしたがって必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行う
- 交流100V以外では使用しない

- ① 図のように、電源ケーブル（白または黒）は、左右どちらかの上方から、それぞれの斜線の領域を通して居室側に引き込んでください。

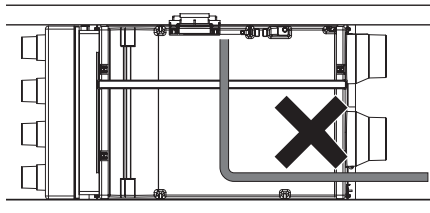


⚠️ 注意

- 電源ケーブルをセンターステーの上側、下側を横断するように引き込むと、本体挿入後に電源ケーブルが本体とセンターステーの間で噛み込むおそれがあります。絶対にお止めください。



取付注意



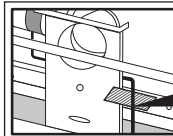
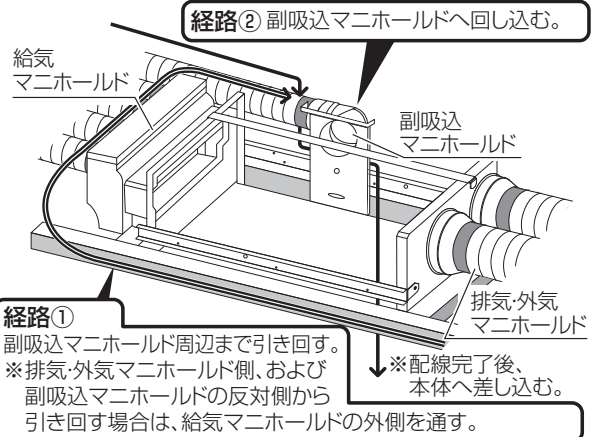
【副吸込マニホールドがある場合】

⚠️ 注意



取付注意

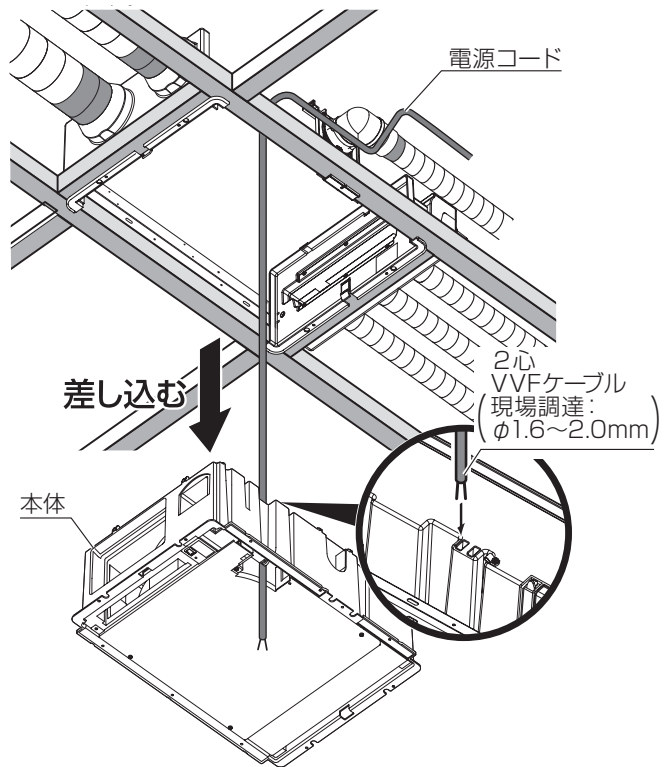
- 電源ケーブルは図の経路①・②の順に引き回す
本体取り付け時に、電源ケーブルを挟み込むおそれがあります。



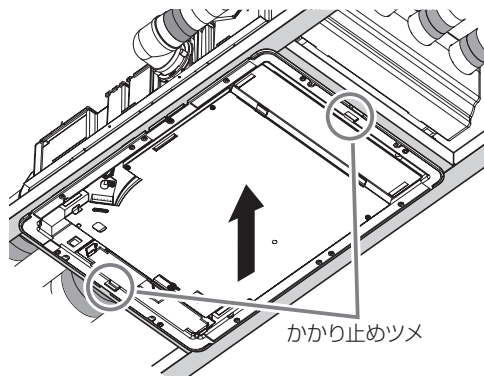
副吸込マニホールドとサイドステーの間に電源ケーブルが挟まらないよう、左図の部分をアルミテープで固定してください。

野縁取り付けの場合

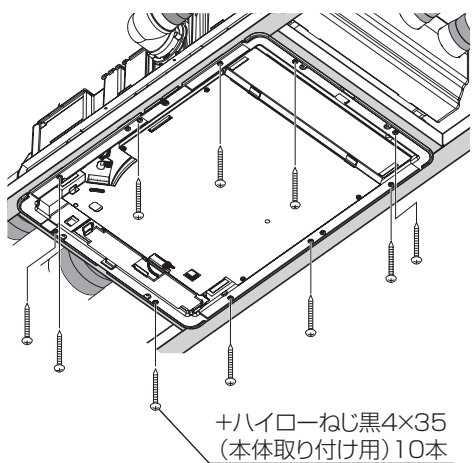
- ① 電源ケーブル（2心VVFケーブル:φ1.6mm~φ2.0mm）を本体背面の穴へ挿入し、電源端子台付近まで押し込んでください。



- ② マニホールドの枠組みの下から本体を差し込んで、かかり止めツメに引っ掛けてください。

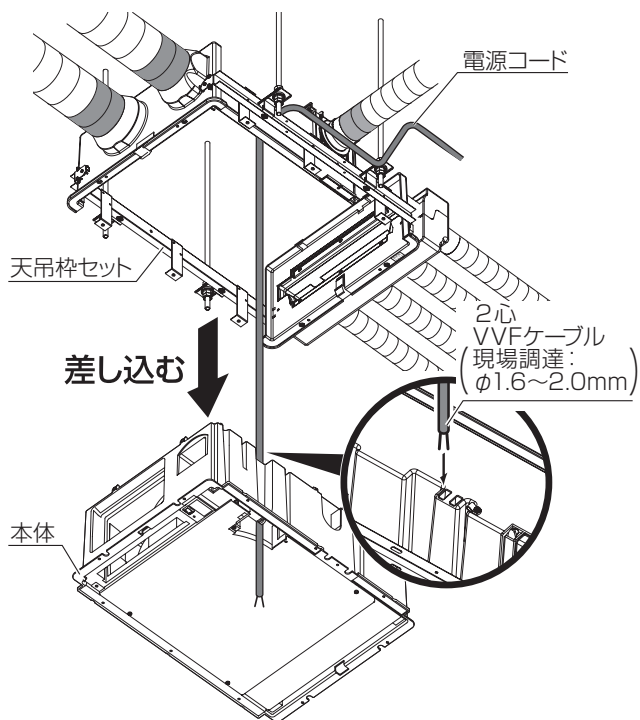


- ③ 手で本体を押さえながら付属の+ハイローねじ黒4×35 (本体取り付け用) 10本で、換気ユニット取り付け用補強枠に固定してください。遮へい板使用時は+ハイローねじが1本余ります。

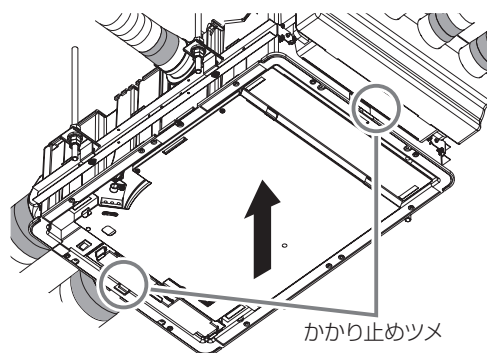


天吊枠セットを用いる場合

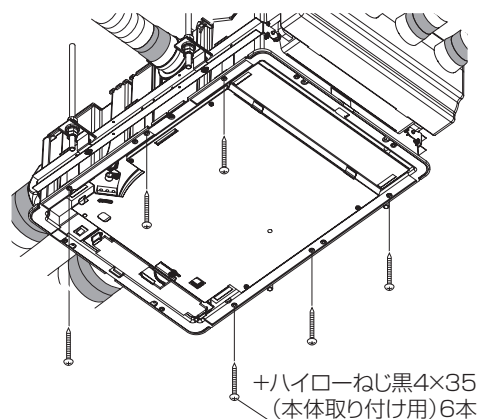
- ① 電源ケーブル (2心VVFケーブル:φ1.6mm~φ2.0mm) を本体背面の穴へ挿入し、電源端子台付近まで押し込んでください。



- ② マニホールドの枠組みの下から本体を差し込んで、かかり止めツメに引っ掛けてください。



- ③ 手で本体を押さえながら付属の+ハイローねじ黒4×35 (本体取り付け用) 6本で天吊枠セットに固定してください。残りのねじ9本は使用しません。



⚠注意

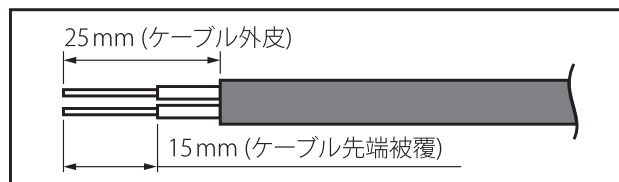


取付注意

- 電源ケーブルを挟み込まないように注意し、電源ケーブルの余長を天井裏に押し込みながら取り付ける
- かかり止めツメのみの固定でその場を離れない
本体の落下により、けがをするおそれがあります。

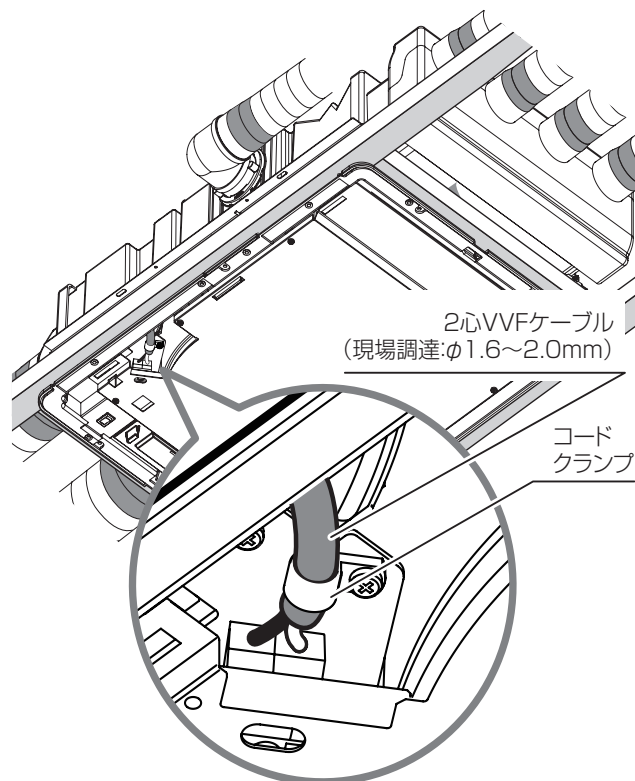
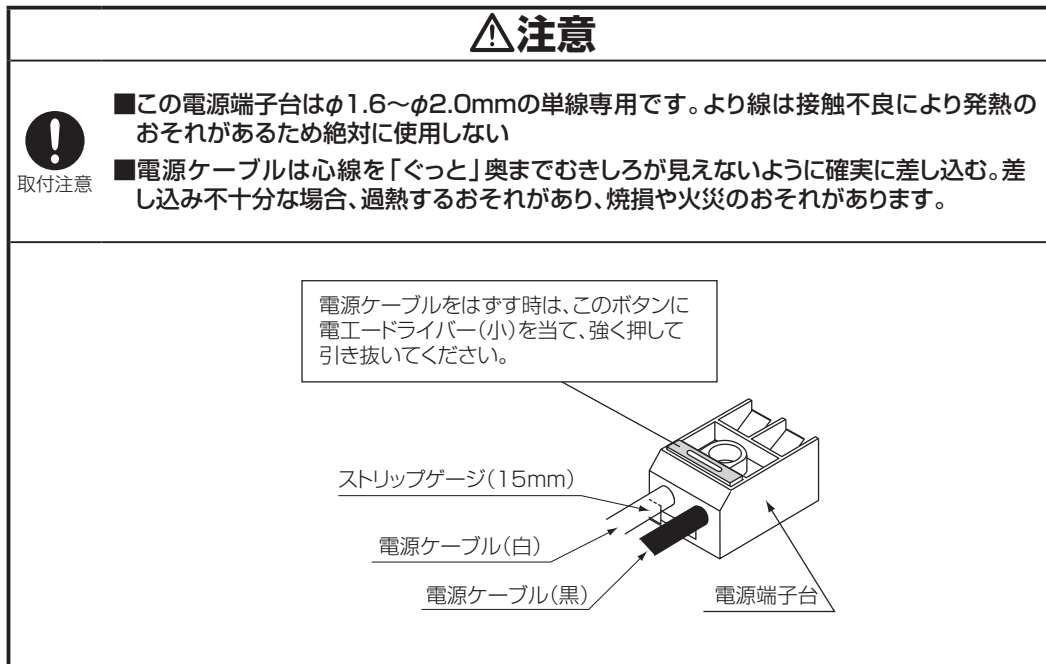
- ④ 電源端子台に配線用遮断器 (AC100V) から電源ケーブル (VVFケーブル:φ1.6mm~φ2.0mm) で直接結線してください。電源ケーブルの電源端子台への接続は下記手順に従い正確に行ってください。メンテナンスの際、本体を容易に取り外せるように、電源ケーブルは本体付近で2mくらいの余裕をとるように配線してください。また、余った線は天井方向に押し込んでください。

【ケーブル被覆のむき寸法】



【電源ケーブル接続方法】

- ① VVFケーブルの外皮を約25mmむき、先端被覆を電源端子台正面のストリップゲージに合わせ、15mmむいてください。
- ② 端子穴に心線を「ぐっと」奥までむきしろが見えないように確実に差し込んでください。

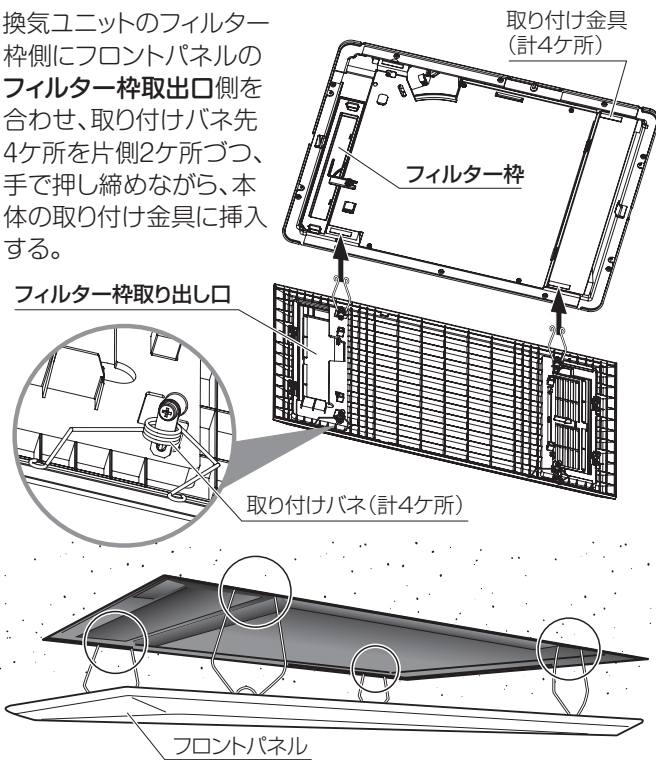


- ③ 電源ケーブルをコードクランプで固定してください。

9 フロントパネルの取り付け

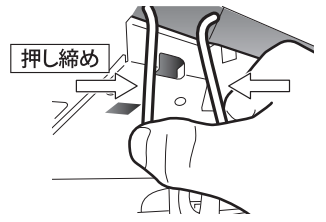
① 換気ユニット開口部の余分なクロスを切除する。

② 換気ユニットのフィルター枠側にフロントパネルのフィルター枠取出口側を合わせ、取り付け金具先4ヶ所を片側2ヶ所ずつ、手で押し締めながら、本体の取り付け金具に挿入する。



取り付け金具先のみを挿入する。この状態でフロントパネルを無理に押し上げない。

③ 取り付け金具を1箇所ずつ手で押し締めながら押し上げる。すべての取り付け金具について押し締め、押し上げ作業を行う。

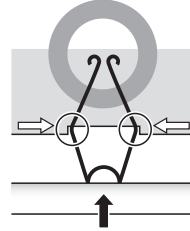


△注意

フロントパネルを無理に押し上げると、取り付け金具が変形します。取り付け金具は1箇所ずつ手で押し締めながら、押し上げてください。

押し締めながら押し上げる

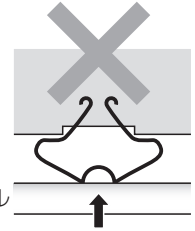
押し上げるだけでは変形



本体

フロントパネル

取り付け金具は、○部分が本体側に入り込まないと、押し上がりません。



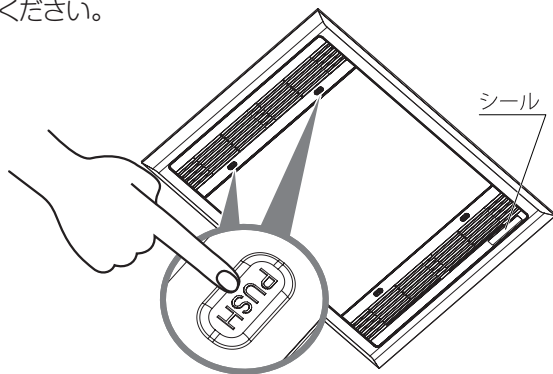
フロントパネルを押し上げるだけでは取り付け金具は入らず、変形するおそれがあります。

④ 換気ユニットへ電源が供給できている場合は、電源を入れ、試運転を行い、各給気グリルから吹き出しがある事を確認してください。

10 風量の設定

風量の設定を行う場合には、下記手順で行ってください。

① シールが貼っていない側の PUSH 2ヶ所を押し、フィルター取出口を開けてください。

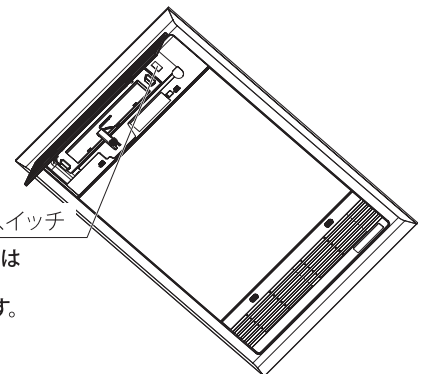


② 必要風量に応じて強弱切替スイッチで強・弱を切替える事ができます。(工場出荷時は「強」設定と なっています)



強弱切替スイッチ

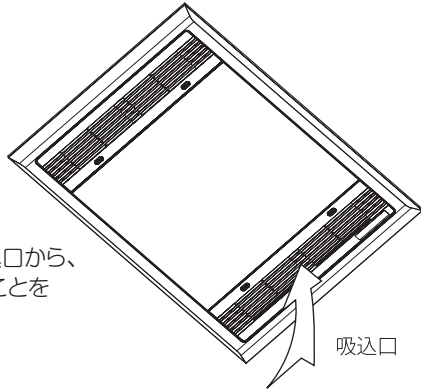
工場出荷時は強設定と なっています。



- 最初の項目の「安全のために必ずお守りください」が守られているか、確認してください。
- 分電盤のブレーカーを入れてください。
- くわしい使用方法は取扱説明書を参照してください。

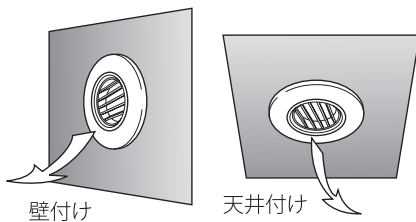
動作の確認

- ① 全熱交換型24時間換気扇のブレーカーを入れてください。

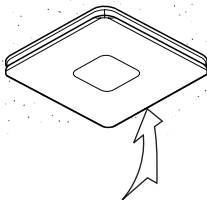


- ② フロントパネルの吸込口から、空気が吸い込まれることを確認してください。

- ③ 各室の給気グリルから空気が吹き出していることを、確認してください。



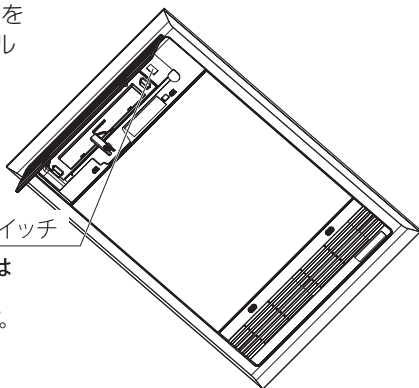
- ④ 副吸込グリルから空気が吸い込まれていくことを確認してください。(副吸込接続する場合)



- ⑤ 本体の強弱切替スイッチを切替え、各室の給気グリルから吹き出す風量が変ったことを確認してください。

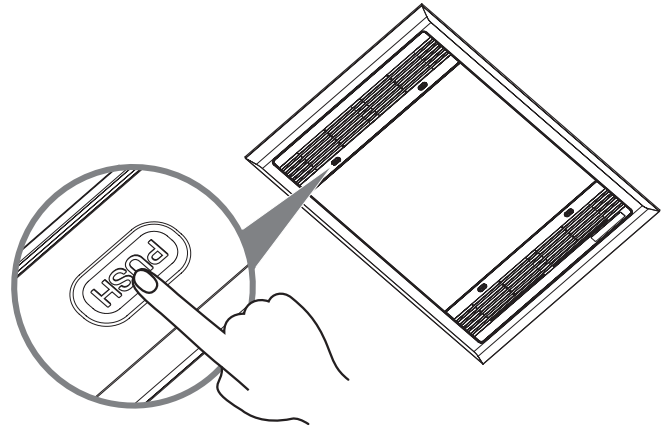


強弱切替スイッチ
工場出荷時は
強設定と
なっています。

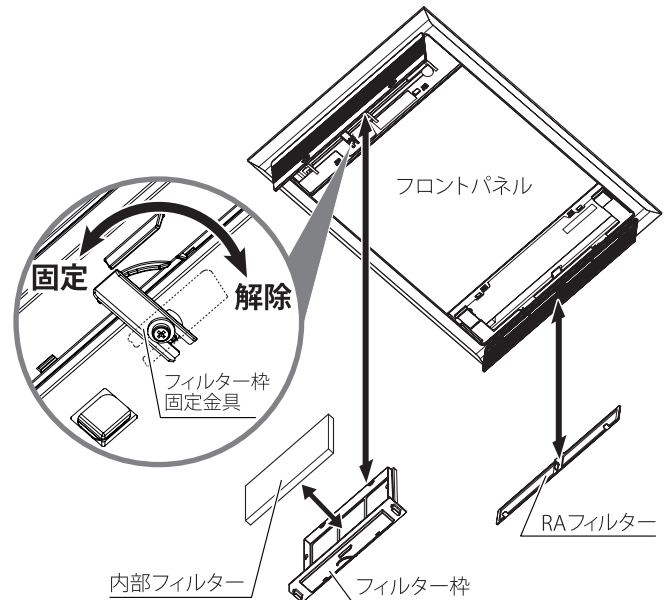


フィルター枠・内部フィルター・RAフィルターの確認

- ⑥ フィルター枠取出口のPUSHの位置2ヶ所を押し、開けてください。



- ⑦ フィルター枠を手で押えながら、フィルター枠固定金具を解除してください。



- ⑧ フィルター枠をゆっくりと外してください。引っ掛かりなく外せることを確認してください。
- ⑨ 内部フィルターがフィルター枠にしっかりと取り付けられているか確認してください。
- ⑩ フィルター枠をゆっくり元の位置に押し込み、引っ掛かりなく押し込めることを確認してください。
- ⑪ フィルター枠固定金具をロックし、フィルター枠が確実に固定されるか、確認してください。
- ⑫ フィルター枠取出口を閉めてください。
- ⑬ フィルター取出口のPUSHボタン2ヶ所を押し、開けてください。
- ⑭ RAフィルターがフィルター取出口にしっかりと取り付けられているか確認してください。
- ⑮ フィルター取出口を閉めてください。

停止の確認

- ⑯ ブレーカー（壁スイッチが取り付けられている場合は壁スイッチ）を切り、運転が停止し各室の給気グリルから風が吹き出さなくなることを確認してください。
- ⑰ ブレーカーを切り、点検と試運転を終了してください。

memo

A series of horizontal dotted lines for writing.

取扱説明書の裏表紙の保証書に、必要事項を記入の上、お客様に必ず保管していただくように依頼してください。

設置・取り付けに関するご相談・お問い合わせは

技術



03-5623-4612

技術相談窓口

(マックス エンジニアリングサービス株式会社)

故障・修理に関するご相談・お問い合わせは

修理



0120-011-408

マックス 修理受付窓口

(マックス エンジニアリングサービス株式会社内)

ホームページでも受け付けております。

<https://www.max-ltd.co.jp/support/repair/dry-fan/>



製品の使い方に関するご相談・お問い合わせは

製品



0120-228-428

マックス 住環境機器お客様相談窓口

ホームページでも受け付けております。

<https://www.max-ltd.co.jp/support/dry-fan/>

